

現代日本論講読／比較現代日本論講読 I 「現代日本論論文講読」(2013 年度 第 2 学期)

## 第 4 講 論文の読みかた (10/22)

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 論文を読む 4 つの視点

### 1 この授業での報告内容

Scanning, Skimming, 図表, Logic の 4 つの担当に分かれて報告する。

#### 1.1 Scanning

その論文の重要な概念を抜き出して報告する。概念ひとつの説明に 1 分～2 分程度はかかるので、その時間を考慮して、重要なものからえらぶ。なお、抄録のあとについている「キーワード」は、データベース検索用に付けられたものであって、この授業でとりあげるべき「重要な概念」とは別である。

各概念について、その論文での定義や意味を説明し、どの部分でどのように使われているかという用例を示す。

- もし、そのことばの通常の用法とちがっている場合には、それについても説明
- 論文中に、類似の概念がほかにもある場合は、それとのちがいについても説明

#### 1.2 Skimming

その論文の構造について報告する。

まず目次を提示した上で、各セクションについて、それぞれの内容と、論文全体の中での位置付けや、他のセクションとの関連を説明する。もし余裕があれば、各セクション中のパラグラフの配置についても説明する。また、セクションやパラグラフの組み立てにまずいところがあれば、それも指摘すること。

#### 1.3 図表

すべての図表について説明することがのぞましい。ただし、時間の都合で全部を取り上げられない場合は、一部を割愛してもよい。

それぞれの図表について、つぎのことを説明する:

- その図表を理解するための予備知識 (使われている指標の性質や、略号の読みかたなど)
- その図表のなかのどの部分に着目すればよいか
- その図表から導かれる結論

## 1.4 Logic

論文全体の知見 (findings) が何であることを示した上で、その根拠となる分析結果や理論的前提について説明する。余裕があれば、その根拠が、知見を導くのにじゅうぶんといえるかどうか、批判的に検討すること。

## 1.5 共通の注意事項

報告の時間が限られているので、まずその論文の内容を紹介することを優先する。その上で、時間に余裕があれば、自分の意見を交えて批判的に検討してよい。

## 2 Scanning の方法

別紙の文章 (永田・塩田編, 2009, p. 198) の第1段落から、つぎのことを読みとってみよう：

- いちばん重要な用語
- それと対立する用語
- これらの用語それぞれの定義

何に注目すればこれらを読みとれるか？

- (1) タイトルや抄録に出てくることば
- (2) 太字、かぎ括弧、文字種、傍点、下線などによる強調
- (3) 他の文章には出てこないことばが、その文章には繰り返し出てくる場合
- (4) 外国語表記をとまなうことば

## 3 Skimming の方法

別紙の論文 (阪口, 2008) について、目次を作成したうえで、それぞれのセクション (およびその中の段落) がどのような役割を果たしているかをまとめる。

## 4 図表の読みかた

別紙の論文 (阪口, 2008) の表4と表5について、なにがおこなわれているかを把握してみよう。

## 5 Logic をたどる

別紙の論文 (阪口, 2008) の最後のセクション (議論) を起点に、つぎのことを読みとってみよう：

- この論文の主要な知見は何か (ポイントはいくつあるか)
- 各ポイントについて、その根拠となっていることは何か

通常、論文の最後に書いてあることは、今後の研究につながるアイデアであって、その論文の結論ではない。

## 文献

永田和宏・塩田浩平 (編)(2009)『医学のための細胞生物学』南山堂。

阪口祐介 (2008)「犯罪リスク知覚の規定構造」『社会学評論』59(3), pp. 462-477.